

《クレンプテロールの食物汚染に起因するドーピング問題についての注意喚起》

2011年11月20日にカナダ、モントリオールで開催された世界ドーピング防止機構 (World Anti-Doping Agency : WADA) 理事会において、WADA 禁止表国際基準で禁止物質として指定されているクレンプテロールが食肉の肥育目的で使用され、このクレンプテロールに汚染された食肉を摂取したことが原因とされる陽性事例が報告されました。

WADA のニュースリリースによれば、クレンプテロールによる陽性事例は、中国とメキシコにおいて発生しており、これらの国で競技会に参加する場合には、「競技会主催団体または国際競技連盟が指定するレストランで食事を摂ること」また、「指定のレストラン以外で食事をする場合には必ず多人数で一緒に食事をすること」を呼びかけているので注意してください。

《世界ドーピング防止機構 web サイト》

<http://www.wada-ama.org/en/News-Center/Articles/Athletes-must-show-caution-due-to-contaminated-meat/>

(参考/WADA web サイト 全文)

Due to continuing concerns over contaminated meat in certain parts of the world, the World Anti-Doping Agency (WADA) has re-emphasized the need for athletes to exercise extreme caution with regards to eating meat when traveling to competitions in China and Mexico.

It has been shown that Mexico and China have a serious problem with meat contaminated with the prohibited substance clenbuterol, and WADA's message to athletes competing in these countries remains the same: eat only in restaurants and cafeterias that have been approved by your federation and/or event organizer.

Furthermore, when eating outside these designated cafeteria and restaurants, always try to eat in large numbers.

"We have collected sufficient evidence to demonstrate that in some countries there is a risk of eating meat that might be contaminated so we say to athletes that they should be sensible and cautious about where they eat," said WADA Director General David Howman.

"At the World Swimming Championships in Shanghai earlier this year, and the recent Pan American Games in Mexico, the advice from WADA was to stick to places given the all clear by event organizers. The Governments were able to give assurances to athletes at those events.

"It is the responsibility of event organizers and governments to ensure the meat available to athletes is not contaminated.

"WADA continues to give the same advice. These countries have assured WADA that they are taking steps to deal with this problem and to enforce laws that are in place to prevent steroid feeding of animals, but at the moment it is vital that athletes, coaches and team managers are aware of ways to avoid any risk.

"It is also important that those sports and organizations who are staging events in these two countries obtain guarantees from the hosting body and government that the food made available to athletes is not contaminated."

WADA will approach and study any positive case involving clenbuterol on an individual basis.

(参考/WADA web サイト 全文 和訳)

世界各地における汚染された食肉に関する不安を受け、世界ドーピング防止機構(WADA)は、中国、メキシコへ競技大会等で渡航する際、食肉を摂取することについて、アスリートが細心の注意を払うことの必要性を再度強調した。

メキシコと中国では、禁止薬物であるクレンブテロールが食肉に含まれていることについて深刻な問題が続いている。よって、メキシコや中国に競技大会等で渡航する場合、WADA からのアスリートに対するメッセージは、以前と一貫して次の通りである: 競技会主催団体または国際競技連盟が指定するレストランやカフェテリアでのみ飲食を摂ること。そして、これら指定されたカフェテリアやレストラン以外で食事をする場合には、必ず多人数で一緒に食事を摂ること。

WADA 事務総長デービッド・ハウマンは次のように述べている「われわれは、ある国によっては食肉に汚染物質が含まれるというリスクがあることの十分な証拠を集めてきたので、アスリートに対しては摂取するものに関して良識を持ち、細心の注意を払うことをアドバイスしたい。

今年初めに上海で行われた世界水泳選手権、そしてメキシコで開催されたパン・アメリカン・ゲームズにおける WADA からのアドバイスは、主催者から安全であると指定された場所で食事を摂るように、というものであった。そのような指定された場所については、アスリートに対して政府からの保証も出されていた。アスリートが摂取する食肉の安全性を保証することは、主催者とその国の政府の責務である。

WADA からのアドバイスは今後も同様であり、これらの国家は、WADA に対してクレンブテロールへの対策が取組まれていることと、ステロイドが含まれる物質を家畜に提供することを防ぐための法律の執行を確約している。しかし、現状ではアスリート、コーチ、チーム・マネージャー自身が、リスクを回避することを認識しておくことが肝要である。

また、これら 2 カ国で競技大会を開催するスポーツや団体については、競技会主催団体と政府から、アスリートが摂取する食事については汚染されていないことの保証を得ることも重要である。」

WADA はクレンブテロールによる陽性ケースについては個別のケースごとに対応していく。